



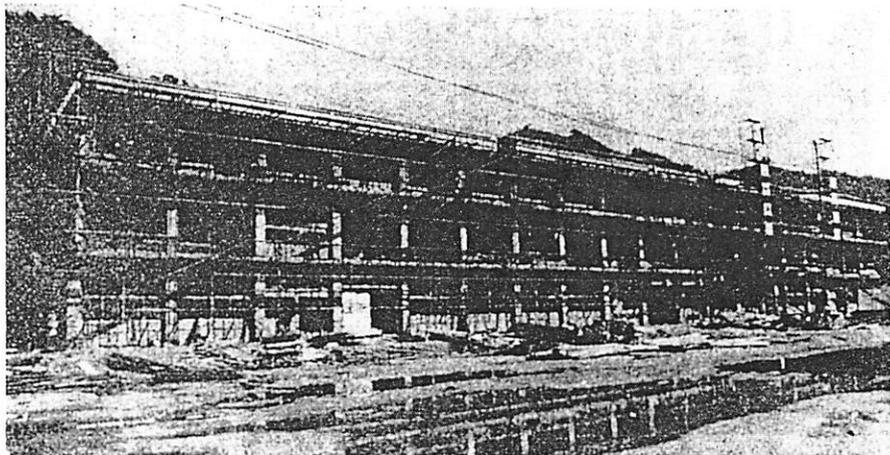
No.208 徳地町報

1973、2/5

発行者 徳地町長

編集者 徳地町企画室

印刷所 今澄印刷所



(上) 中央小学校建築状況 (48、1/31 写す)

## 徳地町長選挙執行日程きまる

徳地町長選挙が次のとおり執行されることが決定されましたので、おしらせします。

2月25日 告示

3月4日 投票 { 自 午前7時から  
至 午後6時まで

町民のみなさん、今回の町長選挙は、町制以来第6代目の町長をきめたいせつな選挙であります。

町選挙管理委員会が常に提唱し、お願い申しあげている

清く。明るく。正しい選挙 にご協力くださるようお願い申し上げます

徳地町選挙管理委員会





No. 1

### 健康生活への近道

#### 栄養のバランスを

前号まで成人病予防のテーマで書いてまいりましたが、本号から日常生活のご参考になればと「栄養改善」をテーマとして書くことにしました。

近年「平均寿命」がのびたので、たれでもが長生きできると思つてゐる人がおられるでしょうか？

それは、少し早合点でたれもがみんな長生きできるようになつたわけではありません。

たとえば、今〇〇歳の者について、これらの者の〇〇歳以後の生存年数の平均を〇〇歳における「平均余命」といいます。一般にいわれているところの「平均寿命」といいますのは、生まれた赤ちゃんと平均余命の平均値のことです。この平均寿命がのびたのは、主に赤やんが昔ほど死ななくなつたためです。

犯罪団体が組織され、地域において各種防犯活動を進め相当の成果をあげてきました。しかし、激増の七十年代といわれる今日、犯罪情勢は日々流動しかつ多様化の傾向をたどり、自主防犯活動をさらに徹底して押し進める必要があります。

町民みなさん方の防犯意識の高揚と定着化をはかり、住民一体となつて効果的な防犯活動を実施するため、防犯地区防犯対策協議会では、防犯警察署と協力して本年一月から毎月十日を「防犯の日」と定め町内全域にわたる防犯運動を実施することにいたしました。

犯罪のない明るい町づくりのためには、町民ひとりひとりが防犯意識を高め、積極的に活動を進めることが必要です。

防犯運動を推進するため、すでに町内には

毎月10日は「防犯の日」  
防犯連絡所の活用を

たこと若し人たちが結核で死ななくなつたからで、中年以後の平均余命はあまりのびていないのが実感です。

近年、栄養価の高いものを、また西洋料理を、洋式の家をと生活様式もずいぶん変つてきて、昔にくらべて確かに日本人の身体は、大きくなりました。

昭和四十五年の二十歳での平均値は

男子：身長、一六八、八〇  
体重、五九、三〇  
女子：身長、一五六、五五  
体重、五一、一〇

また、医療方法も発達して、赤ちゃんの死亡が減少し、結核で死亡する人も少なくなりました。しかし一方では

犯罪の予防防犯に努めることとしております。

防犯連絡所の活用を

町内には、十三カ所の防犯連絡所がありますが、この防犯連絡所は、犯罪のない明るい町づくりを推進するため、地域住民の方々に自主防犯体制を確立し、防犯活動が効果的に行なわれるようその推進力の拠点となるものです。

防犯についてのご相談や警察に対するご要望などいりよく活用していただき。

明るいくらしに役立つ  
郵便局の簡易保険

最近のわたしたちのくらしは交

明るい未来の設計に、危険がいっぱいの現在にくらしに、郵政省の簡易保険をご利用ください。

**善意銀行**

▽二千九百八十八円  
大宇翔字朗、徳地製菓工業株式会社従業員一同より寄付  
▽三万円  
大宇翔大字下藤木、井原正治さんからご祖父、故民之進さんの香典返しの一部として寄付  
▽五千円  
大宇翔町内字安地、岸本泰弘さん（現在、東京都）からご祖父、故義人さんの香典返しの一部として寄付  
▽三万円  
大宇翔字旭、高嶋安洋さんから、故祖母ツタさんの香典返しの一部として寄付  
▽五万円  
大宇翔字伏野、有重二生さんから、故母堂チカさんの香典返しの一部として寄付  
▽千円  
大宇翔木字清、山根勝義さんから、故母堂フサさんの香典返しの一部として寄付

- ① 肥満児の増加
  - ② 中年からの肥満の増加
  - ③ 心臓病や高血圧、脳卒中増加
  - ④ 各種の公害……など多くの問題が派生してきています。
- こうした情勢なかで、たれもが、より健康で長生きできるようにするには、一人一人が病気になるたときに、治療を受けるということだけでは、どうにもなるものではありません。
- 日常生活において、みんながより健康になるよう努力する姿勢を持たなければならぬと思ひます。なんと申しましても、健康生活への近道は、楽しい、栄養のバランスのとれた食事を、みんなが研究しあい、それを実行していくことにあると思ひます（以下次号）
- 交通事故や公害などの各種災害の増加、核家族化の進行、さらに子どもへの教育や老後のくらしの関心の高まりなど、「保障のあるくらし」をもとめる傾向が強まっています。
- 郵政省の簡易保険では、こうした諸要求にこたえるため、新しく「学資保険、特別終身保険、七倍保障の特別養老保険」等を発売し三月末まで加入運動を展開しています。
- どちらを見ても危険がいっぱいの今日のごころ、わたしたちの周囲は、いつも安心してくらせるようふだんから心がけたいものです。
- また、簡易保険の資金は、公共の施設や学校、道路等の建設資金として貸付られ、地域社会の発展にも大きく役立つっております。

あ と が き

四十七年分の所得税の確定申告と納税は、三月十五日までです。

税務署では期間中、所得や税金の計算方法、申告のしかたなどの相談をしていますのでお気軽にご相談ください。